



會津八一
没後60年
企画展

會津八一と

刻字

同時開催

「會津八一の歌を映す」

第10回写真コンテスト入賞入選作品展

第10回 秋艸道人賞受賞作品

中林重英氏(新発田市)

「春日野に おし照る月の ほからかに 秋の夕べと なりにけるかも」

平成28年

12月23日(金・祝)～

平成29年

3月26日(日)

午前10時～午後6時(午後5時30分まで受付)

会場 新潟市會津八一記念館

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日は休館 / 12月28日～1月3日まで冬季休館)

入館料 一般 500円、大学生 300円、高校生 200円、小・中学生 100円

※団体20名以上2割引、土日祝日は小中学生無料

主催 新潟市會津八一記念館

共催 新潟日报社

後援 BSN新潟放送

協力企業 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

〈作品解説会〉期間中 第2、4日曜日 午前11時 当館展示室にて(企画展入館券が必要です)

會津八一書・吉田蝸牛洞刻「及其至也 不亦樂哉」の「哉」拡大部分



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5F
TEL.025-282-7612 (10:00～18:00) <http://aizuyaichi.or.jp>

東 洋美術史学者であり、書家でもあった會津八一(1881~1956)は、中国や日本の歴代の石刷り(金石拓本)を多数集めて、長年研究してきました。また、終生、いかに自らの書を美しく刻みつけることができるかを追究し続けました。とくに歌碑においては、強い意識をもって制作に携わりました。八一は自分で文字を刻することはなかったのですが、原稿を石の上に貼って石工に彫らせたり、刻法を細かく責任者に指示したりするなど、自らの文字を忠実に残すことに、強いこだわりをもっていたのです。そのほか、商店、企業、恩師や知人宅から依頼されて、商店名や屋号を揮毫して看板にした木額も少なくありません。

今年度、會津八一没後60年事業の最後を締めくくる本展は、刻まれた八一の書をテーマにした展覧会です。八一の書を彫り込んだ商店などの木製看板をはじめ、新聞の題字の金型、自詠の短歌や漢字の句語を揮毫した石碑の拓本や銅版といった「加工された八一の文字」を、原本の書と併せて紹介し、その美意識を探ります。

同時に第10回會津八一の歌を映す写真コンテスト入賞入選作品展も開催します。さらには、第1回から9回までの秋艸道人賞作品と審査委員長浅井慎平さんの作品も展示いたします。



1. 會津八一書・吉田蝸牛洞刻「不亦樂哉 及其至也」(昭和16年・59歳 当記念館蔵)
2. 會津八一書・三田亥二刻「大阪屋」(昭和26年・70歳 株式会社大阪屋蔵)
3. 會津八一書・天光堂刻「旅舎 日吉館」(昭和5年・48歳 早稲田大學會津八一記念博物館蔵)



EVENT INFORMATION

〈会期中のイベント〉 刻字の世界に触れる～ 体験講座&文芸講演会

イベント1 刻字の世界に触れる～ 刻字体験講座

[講師] 薄田東仙氏(書道家、刻字家、日本刻字協会会長)
[日時] 平成29年2月23日(木)、24日(金) / 午後1時~3時
[会場] 會津八一記念館 会議室(メディアシップ 5F)
[定員] 各回14名
[参加費] 1,500円

イベント2 「刻字とは何か」を探る～ 文芸講演会

[講師] 松丸道雄氏(東京大学名誉教授、八一の自用印を刻した篆刻家松丸東魚の子息)
[日時] 平成29年3月9日(木) / 午後2時~3時半
[会場] 日報ホール(メディアシップ 2F)
[定員] 150名
[参加費] 500円

※往復はがきに住所、氏名、電話番号、イベント1または2をお書きの上、會津八一記念館へお申し込みください。刻字体験講座は受講希望日を忘れず記入してください。
※1通につき1名様までのご応募といたします。定員に達し次第締め切ります。

同時開催

「會津八一の歌を映す」第10回 秋艸道人賞
写真コンテスト入賞入選作品展



審査員特別賞
(第10回 秋艸道人賞写真コンテスト記念)
「天地に」
山口 晴久氏(大阪府池田市)



新潟日報社賞
「天地に」
佐々木 進氏(新潟市西区)



BSN賞
「船人は」
斎藤 日出子氏(佐渡市)



早稲田大学
會津八一記念博物館賞
「穴ごもる」
津田 節哉氏
(愛知県名古屋)



新潟市長賞
「薄れゆく」
宮澤 晃氏(新潟市江南区)



胎内市長賞
「ひそみ来て」
山口 愛子氏(新潟市胎内市)

関連イベント

写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評会

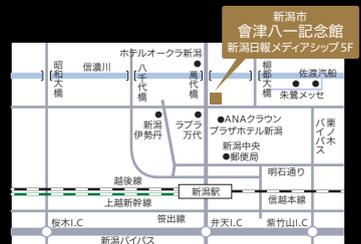
[日時] 平成29年2月10日(金) 午後2時~ [会場] ホテル日航新潟 30F 鳳凰 (〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1) [定員] 100名 無料

講評(予定) 浅井慎平氏(写真家) 和泉久子氏(鶴見大学名誉教授) 塚原史氏(早稲田大學會津八一記念博物館館長) 神林恒道(會津八一記念館館長)

AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM
新潟市 會津八一記念館

お問合せ先

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。
(階段はございません)



◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分
◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業)、時間貸し駐車場 220円(税込)/30分、夜間最大(22時~翌8時) 1,000円(税込)、時間貸し駐車スペースは3~4階(77台)
万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。